

今井祝雄ー長い未来をひきつれて

出品リスト

出品 no. / タイトル / 制作年 / 技法・材質 / サイズ (縦×横×奥行) / 初出展歴 / 所蔵
*所蔵表記のないものは作家蔵

I ここからここへ：現在

1
《瀑布ービデオの時代》
2024 年
ビデオテープ、映像、カセットケース
サイズ可変
本展初公開

2
《音声の庭で》
2023 年
カセットテープ、アクリル板
各 25.0×25.0×6.0 cm *12 点 1 組
個展「今井祝雄の音」(アートコートギャラリー
／大阪、2023.5) * 出品作を再構成

3
《ことのはディスタンス／2021》
2021 年
活字版、「唇拓」、アクリル板
75.5×105.7 cm
「文字模似言葉」(ボードレス・アートミュージ
アム NO-MA／滋賀、2021.2)
関連イベントのパフォーマンスより (酒游館／
滋賀、2021.2.13)
* 美術家・林葵衣とのコラボレーション

4
《おとのはディスタンス／2021》
2021 年
活字版、インスタント写真、アクリル板
75.5×105.7 cm
個展「踊る心、考える耳」(+ 1 art／大阪、
2021.3)
関連イベントのパフォーマンスより (高津宮
／大阪、2021.3.20)
* チェリスト・中川裕貴とのコラボレーション

5
《おとだま》
2020-2021 年
オーディオテープ (リール 108 巻)
本体：直径 25.0cm、台座：40.6×40.6×16.8cm
個展「おとだま」(+ 1 art／大阪、2022.3)

6
《回るケルン》
2017 年
SP レコード盤の破片、ターンテーブル
36.0×45.0×35.5 cm
個展「音のケルン」(+ 1 art／大阪、2017.11)

7
《デイリーポートレート》
1979 年ー
インスタント写真、アクリルケース
A：11.0×11.8×24.1 cm 36 個
B：10.7×11.9×35.0 cm 10 個
「イメージのルーツ〈物体〉2」(ギャラリー・ウエ
ストベス／愛知、1979.7)

II ときのまにまに：1980 ← 70 年代

8
《Two Heartbeats of Mine》
1976 年
心臓音 (1975/1976)、スピーカー
スピーカー：20.6×18.2 cm (直径×厚み)
個展「日本の現代作家展ーデュシャンを透して・・・」
(ギャラリー・ペテ／大阪、1976.11)

9
《Two Heartbeats of Mine(1976 年)のための
ポートレート／私だけの》
1976 年
アクリルミラー、ガラスにスクリーンプリント
40.9×31.9 cm
個展「日本の現代作家展ーデュシャンを透して・・・」
(ギャラリー・ペテ／大阪、1976.11)

10
《八分の六拍子ーpart 1》
1976 年
メトロノーム音、心臓音 (1976)、スピーカー
「第 9 回現代の造形〈映像表現'76〉」(KBS レーザリ
アムセンター／京都、1976.10)

11
《八分の六拍子ーpart 2》
1976 年
ゼラチンシルバー・プリント
写真：各 24.0×30.0cm *34 点 1 組
スコア：9.7×13.3 cm
個展「八分の六拍子 part2」(アート・コア・ギャ
ラリー／京都、1976.10)

12
《観る人ー八分の六拍子》
1976 / 2023 年
ゼラチンシルバー・プリント
各 43.0×32.2 cm *4 点 1 組
本展初公開

13
《The Party》
1975 年
記録写真、DM+心電図ほか
額作品：44.0×61.8 cm
「The Party」(ギャラリー16／京都、1975.7)

14
《この偶然の共同行為を一つの事件として…………》
1972 年
記録写真、DM、メモ等
「この偶然の共同行為を一つの事件として…………」
(喫茶店コンドル／大阪、1972.7)

15
《タイムコレクション》
1981 年
CB プリント
各 18.3×23.3 cm *12 点 1 組
個展「今井祝雄ータイム・コレクション」(キタノサ
ーカス・フォトイン／兵庫、1982.2)

16
《F 氏との 1 時間》
1979 年
ゼラチンシルバー・プリント
19.2×26.0 cm
個展「Retrospectiveー方形の時間」(アートコート
ギャラリー/大阪、2016.3)

17
《時間のポートレート》
1979 年
ゼラチンシルバー・プリント
各 53.0×43.1 cm *8 点 1 組
個展「自画像による個展」(番画廊/大阪、1979.10)

18
《時間の風景／阿倍野筋》
1977 年
ゼラチンシルバー・プリント (一部彩色)
各 41.8×53.0 cm *6 点 1 組
「20 年を迎えた京都アンデパンダンの方向展」
(京都市美術館、1978.3)

19
《ウォーキング・イベント／曲がり角の風景》
1977 年
タイプ C プリント、地図
地図：72.7×54.0 cm
写真：各 54.0×72.7 cm *5 点 1 組
「個展ー資料または副産物として」(ギャルリーキタ
ノサーカス／兵庫、1977.4)

20
《ウォーキング・イベント／曲がり角の風景より》
1977 年
写真、地図、資料
各 74.4×56.2 cm *7 点 1 組
「京都アンデパンダン」(京都市美術館、1977.3)

21
《Red Light》
1976-1977 年
タイプ C プリント、ゼラチンシルバー・プリント
(一部彩色)
J~N：49.9×81.5 cm
O, P：48.4×79.9 cm
「風景'76」(アート・コア・ギャラリー／京都、
1976.7)

22
《視界／窓》
1974 年
タイプ C プリント、窓枠
55.9×64.7 cm
「イメージ'74」(ギャラリーオカベ／東京、
1974.7)

23
《映像による素描—A2》
1974年
ブループリント、インク、トレーシングペーパー
各 42.3×59.4 cm *8点1組
「いま、PRINTING のなかで……」
(ギャラリー・シグナム／京都、1974.3)

24
《素描／映像》
1973年
インク、紙
79.0×109.5 cm
「第6回現代の造形〈映像表現'73〉—写真・フィルム・ビデオ」(京都市美術館、1973.9)

25
《漂流／白いシルエット》
1968-2023年
ゼラチンシルバー・プリント
各 34.0×34.0 cm *8点1組
本展初公開

26
《位置の検証》
1973年
ゼラチンシルバー・プリント
A-2：27.2×37.4 cm
E-2：39.8×25.7 cm
「7/365×11=展 (今日の方法)」(京都市美術館、1973.10)

27
《前へ／フィルム》
1973年
ゼラチンシルバー・プリント
63.0×43.9 cm 14カット
個展「角度・位置・距離—写真による」(ギャラリー・シグナム／京都、1973.8)

28
《後へ》
1973年
ゼラチンシルバー・プリント
34.6×32.0 cm 14カット
個展「角度・位置・距離—写真による」(ギャラリー・シグナム／京都、1973.8)

29
《15時の光》
1972年
ゼラチンシルバー・プリント
102.7×72.6 cm
「1972年8月10日 A.M.9:30-P.M.7:00 中の島中央公会堂展」(大阪市中心公会堂、1972.8)

30
《SQUARE—glass/grass》
1970年
ゼラチンシルバー・プリント、タイプCプリント
各 35.8×53.0 cm *9点1組
「TOKYO PHOTO 2013」(増上寺／東京、2013.9)

Ⅲ しろからはじまる：1970 ← 60年代

31
《絵画または余白A》
1971年
メディウム、キャンバス
46.0×53.5 cm
「具体美術小品展」(グタイミニピナコテカ／大阪、1971.12)
個人蔵

32
《絵画または余白B》
1971年
メディウム、キャンバス
45.5×53.2 cm
「具体美術小品展」(グタイミニピナコテカ／大阪、1971.12)
個人蔵

33
《円》
1967年
モノクロ、サウンド
*16ミリフィルム、4分3秒
サイズ可変
「第1回草月実験映画祭」(草月会館ホール／東京、1967.11)

34
《白のセレモニー・90度》
1967 / 2013年
アクリル絵具、プラスチック型、綿布
90.0×180.0 cm
個展「Perspective in White」(ギャラリー・リチャード／アメリカ、2014.2)

35
《白のイベント×映像》
1966 / 2016年
モーター、ラバー、木、映像
104.0×184.0×58.3 cm
「空間から環境へ」(松屋百貨店／東京、1966.11)
*本作は縮小再現

36
《白のイベント×映像 (図面)》
1966年
ゼラチンシルバー・プリント、図面
36.0×26.4 cm
個展「白のイベント×映像・1966-2016」(ユミコチバアソシエイツ／東京、2016.3)
*画像提供：大辻清司+東松照明+鷹野隆大

37
《白のセレモニー-HOLES 3》
1966年
アクリル絵具、プラスチック型、綿布
178.0×260.0 cm
個展 (グタイピナコテカ／大阪、1966.7)
芦屋市立美術博物館蔵

38
《白のイベント I》
1965年
モーター、ラバー、木
100.0×100.0×108.0 cm
「第16回具体美術展」(京王百貨店／東京、1965.10)
芦屋市立美術博物館蔵

39
《白のイベント II》
1965年
モーター、ラバー、木
100.0×100.0×108.0 cm
「第16回具体美術展」(京王百貨店／東京、1965.10)
芦屋市立美術博物館蔵

40
《作品》
1965年
アクリル絵具、ミクストメディア、綿布
179.5×137.5 cm
「第15回具体美術展」(グタイピナコテカ／大阪、1965.7)
芦屋市立美術博物館蔵

41
《作品一点と円》
1964 / 2012年
アクリル絵具、金型、釘、綿布
25.5×25.5 cm
個展「17才の証言」(ヌーヌ画廊／大阪、1964.2)

42
《作品一点と線》
1964 / 2012年
アクリル絵具、プラスチック型、釘、綿布
25.5×25.5 cm
個展「17才の証言」(ヌーヌ画廊／大阪、1964.2)

43
《無題—C》
1963年
墨、紙
35.5×25.0 cm
「象る、象られる。」(ユミコチバアソシエイツ／東京、2018.3)

44
《無題—D》
1963年
墨、紙
35.5×25.0 cm
「象る、象られる。」(ユミコチバアソシエイツ／東京、2018.3)

特別展「今井祝雄 — 長い未来をひきつれて」

2024年9月14日(土)–11月17日(日)

主 催：芦屋市立美術博物館
後 援：兵庫県、兵庫県教育委員会、公益財団法人兵庫県芸術文化協会、神戸新聞社、Kiss FM KOBE
協 力：藤本由紀夫、林勇氣
ARTCOURT Gallery、Yumiko Chiba Associates